

2019年2月26日

報道関係者各位

慶應義塾大学病院

268グラムの超低出生体重児の男児が元気に退院

—男児として世界最小—

慶應義塾大学病院小児科（教授：高橋孝雄）にて、268グラムで妊娠24週に出生した超低出生体重児の男児（担当医：有光威志助教、飛弾麻里子准教授）が2019年2月に生後5か月で同院新生児病棟を退院しました。大きな合併症も無く元気に退院した男児としては、世界で一番小さい赤ちゃんです。

1. 268グラムで出生した男児について

新生児医療の進歩はめざましく、日本において1000グラム未満で出生する超低出生体重児の救命率は最近では約90%とされています。一方、300グラム未満で出生した児の救命率はいまだに低く、特に男児の場合、超低出生体重児の救命は女兒に比べて格段に難しいものがあります。アイオワ大学のデータベース The Tiniest Babies

(<https://webapps1.healthcare.uiowa.edu/TiniestBabies/index.aspx>)によると、過去に世界で出生体重300グラム未満で生存退院した児は23人ですが、そのうち男児は4人に過ぎず、男児の救命は女兒の約6倍難しいと言えます。生存退院した世界で最も小さい男児の赤ちゃんは、2009年にドイツ・ニーダーザクセン州（ゲッティンゲン郡）にて、妊娠24週274グラムで出生した男児です。

今回ご報告する男児は、妊娠24週に268グラムで出生し、呼吸循環管理法や栄養管理に細心の配慮をかさねた結果、大きな合併症もなく他の赤ちゃんと同じように自分の力でミルクを飲むことができるようになり、3238グラムで退院しました。

2. 超低出生体重児について

超低出生体重児とは、出生体重1000グラム未満で生まれた赤ちゃんのことです。妊娠週数の早い時期（早産、妊娠37週未満で出生）に、小さく生まれた赤ちゃんは、体のさまざまな機能が未熟なため、いろいろな合併症を起こすリスクが高くなります。呼吸障害、心不全、消化管穿孔、脳障害、失明、難聴などが起こることがあります。免疫力も弱いと、重症の感染症にかかりやすくなります。

さらに、超低出生体重児の男児は女兒と比べて救命率が低く、しかも上記の合併症を起こすリスクが高いことが知られています。その理由はまだ推測の域を出ませんが、男児では肺の成熟が遅いことや酸化ストレスに弱いことが一因と考えられています。

【アイオワ大学のデータベース The Tiniest Babies による最小の男児の赤ちゃん】

	出生年	出生国 (州)	出生体重	妊娠週数
1	2009	ドイツ	274グラム	24週
2	2015	日本	289グラム	24週
3	2011	日本	294グラム	24週
4	2009	日本	297グラム	23週
5	2014	カリフォルニア	311グラム	25週
6	1998	ドイツ	320グラム	25週
7	2003	ニュージャージー	320グラム	23週
8	2011	ドイツ	320グラム	23週
9	2004	アイオワ	325グラム	26週
10	2003	ドミニカ共和国	330グラム	23週

268グラムの赤ちゃん
はここに相当します

[参考]慶應義塾大学医学部小児科学教室について

日本周産期・新生児医学会 周産期専門医制度（新生児専門医）の基幹研修施設です。新生児病棟は NICU（Neonatal Intensive Care Unit: 新生児集中治療管理室）9床、GCU（Growing Care Unit : 継続保育室）18床と都内では中規模ながら、妊娠 23 週 289 グラムで出生した女児の赤ちゃん（1999 年）や、妊娠 25 週 265 グラムで出生した女児の赤ちゃん（2007 年、当時世界で 2 番目に小さい赤ちゃん）を元気に退院させた実績があります。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、各社科学部等に送信しております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾大学病院 小児科
 助教 有光 威志（ありみつ たけし）
 TEL:03-5363-3816 FAX : 03-5379-1978
 E-mail: arimitsu@z8.keio.jp
<http://pedia.med.keio.ac.jp>

【本リリースの発信元】

慶應義塾大学病院
 総務課：鈴木・山崎
 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
 TEL : 03-5363-3611 FAX : 03-5363-3612
 E-mail: med-koho@adst.keio.ac.jp
<http://www.med.keio.ac.jp/>